

学力検査

国語

(第五回)

(注意事項)

- 一 放送で指示があるまでは、開いてはいけません。
- 二 答えは、全て解答用紙に書きなさい。
- 三 検査問題は、大問七題で、1ページから14ページまで印刷されています。検査開始後に、印刷のはっきりしないところや、ページが抜けているところがあれば、手を挙げなさい。
- 四 解答用紙だけ提出し、問題用紙は持ち帰りなさい。

解答上の注意

解答する際に字数制限がある場合には、句読点や「」などの符号も字数に数えること。

聞き取り検査受検上の注意

- (1) 最初に聞き取り検査を行います。
- (2) 聞き取り検査は放送で行います。問いも放送します。放送は全て一回だけです。
- (3) 放送終了までは、3ページ以降を開かないこと。
- (4) 放送中に、1ページと2ページにメモをとってもかまいません。



この二次元コードを読み取ることで、この回の放送音声を再生できます。

※注意 各ページの全ての問題について、解答する際に
字数制限がある場合には、句読点や「」などの
符号も字数に数えること。

― これから、三浦さんが松本さんに、昔の体験を基に考えたことについて話す場面と、それに関連した問いを四問放送します。よく聞いて、それぞれの問いに答えなさい。

(放送が流れます。)

(1) (問いを放送します。)

〔選択肢〕

- ア 人によってもものを比較するときの着眼点が違っているから。
- イ 自分の挙げたものが比較する対象として不適当だったから。
- ウ 相手が何を比較しているのかを理解できなかったから。
- エ 相手のほうが優れた比較の仕方をしていると思ったから。

(2) (問いを放送します。)

〔選択肢〕

- ア 人の意見を聞かずに一方的に結論を出してしまった点。
- イ 説明が足りなかったために誤解を生んでしまった点。
- ウ 複数の意味を持つ言葉を一つの意味だけで使っていた点。
- エ 言葉を正確な意味で使っていなかった点。

(3) (問いを放送します。)

〔選択肢〕

- ア 松本さんは便利であるためにデジタルなものに好意的で、三浦さんは自分の技術に自信があるためアナログなものに好意的である。
- イ 松本さんは簡単に扱えるからデジタルなものに好意的で、三浦さんは努力を美徳と考えることからアナログなものに好意的である。
- ウ 松本さんは技術が不要なことからデジタルなものに好意的で、三浦さんは使いこなすのが難しいからアナログなものに好意的である。
- エ 松本さんは利便性の高さからデジタルなものに好意的で、三浦さんは技術の向上につながるからアナログなものに好意的である。

(4) (問いを放送します。)

〔選択肢〕

- ア アナログなものを使えるようになるためには、技術をつけ、財産を築くことが必要であるかもしれないと考えようになった。
- イ アナログなものを使うために、技術をつける時間をもつたいないと感じるのは恥ずべきことかもしれないと考えるようになった。
- ウ アナログなものを使うために技術をつけることは、人生において財産を築くことに似ているかもしれないと考えるようになった。
- エ アナログなものを使うことは人生において財産を築くことに等しく、そのためには時間という投資が必要だと考えるようになった。

聞き取り検査終了後、3ページ以降も解答しなさい。

二 次の(1)～(4)の――の漢字の読みを、ひらがなで書きなさい。

- (1) 母を慕^う子どもたち。
- (2) 不用品を売却して資金を賄^う。
- (3) 地方に閑居^{する}。
- (4) 目の前で消滅^{する}。

三 次の(1)～(4)の――のカタカナの部分を漢字に直して、楷書^{かいしょ}で書きなさい。

- (1) 彼の意志はハガネのように固い。
- (2) 監督の指示にシタガ^う。
- (3) 情報が多すぎてコンラン^{する}。
- (4) 物語はキュウテン直下の結末を迎えた。

四 次の文章を読み、あとの(1)～(6)の間に答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(鷲田清一『濃霧の中の方向感覚』による。)

(注1) 篡奪⇨身分の低いものに君主の座を奪われること。

(注2) 搾取⇨優越的立場を利用して他人を役し、不当な利益を得ること。

(1) 文章中の ない と同じ品詞であるものを、次のア～エのうちから

一つ選び、その符号を答えなさい。

ア 桜の花が散るのは、はかない。

イ がらんとしていて人がいない。

ウ 彼はギターが上手くない。

エ 夢も希望もない。

(2) 文章中に 「^Aつくる」 とあるが、この文章では「つくる」をどのよ

うに捉えているか。その説明として最も適当なものを、次のア～エのうちから二つ選び、その符号を答えなさい。

ア 一人の人間が個体として自然の中で生きるための手段であり、主に幼稚園や小学校で習う技術。

イ 創意工夫を凝らした新たな道具を開発して文明を進歩させ、人生を便利にするもの。

ウ 人が生きるための基本となる能力のひとつで、農作や道具の製造、造船などを含む技能。

エ 道具の使い道や関連するものを把握して、自分の生きる場の広がりを感じさせる技能。

オ 道具を鑑賞されるものに変えた、昨今「ものづくり」として神格化される匠の技術。

(3) 文章中の ^B 人の繋がり、物との対話、用途の連なり を説明した、次の文を完成させなさい。ただし、I Ⅱ Ⅲ に入る言葉として最も適当なものを、あとのア～オのうちから一つずつ選び、その符号を答えなさい。なお、同じ符号を何度使ってもよい。

その道具がどのような用途で用いられるかを I し、また、その作成に必要な素材がどのような Ⅱ を持っているかを知っている職人たちが Ⅲ して製造しているということ。

- ア 性質 イ 想定 ウ 性能
エ 協力 オ 観察

(4) 文章中に「つかう」^C ことの痩せ細り とあるが、この文章では、どのように説明しているか。最も適当なものを、次のア～エのうちから一つ選び、その符号を答えなさい。

- ア 「つかう」物としての道具が鑑賞するものになった結果、人が道具をじっくりと「つかう」ことがなくなっていくということ。
イ 人が物を使いこなすという意味で用いられていた「つかう」が、ものを消費するという意味に変化していったということ。
ウ かつては道具を「つかう」ものとみなしていたが、時代とともにお金を「つかう」ものとみなすようになっていったということ。
エ 人と人との間柄にも用いていた「つかう」が、人と物との関係にのみ用いられるように変化していったということ。

(5) 文章中の「つかう」とは「つきあい」からくるもの、……【】について、筆者が著した次の文章をふまえて、あとの問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(わただきよかず)
鷺田清一『濃霧の中の方向感覚』による。

問い 「つきあう」と「使用の自由」との関わりについて、次のようにまとめます。これを読み、あとの(a)、(b)に答えなさい。

「つかう」の中にはおんぶしてもらうなど、「他人の身体の使用」が許されるような、I の中で許される、人とのつきあいの中にある行為もある。
ところが、使用の自由が使用者の自由と取り違えられると、Ⅱ と判断されるが、これでは意のままにならないものと交わる知恵も愉しみもなくなってしまいます。

(a) I に入る言葉として最も適当なものを、次のア～エのうちから一つ選び、その符号を答えなさい。

ア じぶんの居場所 イ 他人への信頼

ウ 他者との関係 エ 個々人の存在

(b) II に入る言葉を、「使用者の自由」、「他人」、「身体」という言葉を使って、**三十字以上、三十五字以内**で書きなさい。

(6) この文章の構成について説明したものととして最も適当なものを、次のア～エのうちから一つ選び、その符号を答えなさい。

ア 前半は個人の存在の希薄化について説明し、後半は「つくる」の意味の変化がその原因になったのではないかと述べている。

イ 前半は「つくる」について説明し、後半は「つくる」と「つかう」の萎縮が個人の存在の萎縮に関係があるという仮説を立てている。

ウ 前半は人と人、物との繋がりがどうあるべきかについて説明し、後半は「つかう」の用いられ方の変遷に焦点を当てている。

エ 前半は人の生と「つくる」の関係について説明し、後半は道具の使いかたが変化してきたことに対して警鐘を鳴らしている。

五 次の文章を読み、あとの(1)～(6)の問いに答えなさい。

伊藤野枝(ノエ)は、上野高等学校に福岡県から編入し、進級して五年生になる。英語を担当する新任教師の辻潤は、授業の冒頭に「花の雲 鐘は上野か浅草か」という松尾芭蕉の句を紹介したところ、ノエは級友の中山嘉津恵の「花の雲」の解釈を笑い、正統な解釈を示した後、「鐘は上野か浅草か」の部分にも通説とは違った解釈ができると言うので、辻がやむなく意見を聞いている。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(村山由佳『風よ あらしよ』による。)

(注1) 定石〓物事を処理するときの決まったやり方。

(注2) 衿垢娘〓ノエのこと。

(注3) 帳面〓ノート。

(1) 文章中に 横目^Aで眺めやりながら、小鼻^Fをびくびくさせながらとあるが、この部分のノエの様子を説明した、次の文の に入る言葉として最も適当なものを、次のア～エのうちから一つ選び、その符号を答えなさい。

級友の嘉津恵よりも優れた解釈を思いついたことで、 気が表れている。

- ア 優越感を抱くとともに、共感を得られて満足した
- イ 知性の高さを示すとともに、お茶目な一面を表現したい
- ウ 自信が満ち溢れる^{あふ}とともに、嘉津恵に申し訳ない
- エ 育ちの良さを示すとともに、自分を誇示したい
- (2) 文章中に ノエは息を吸い込んだ^B とあるが、このときのノエの心情を説明したのもとして最も適当なものを、次のア～エのうちから一つ選び、その符号を答えなさい。
- ア 独自の解釈を他人から批評されることに恐れを抱き、おびえる気持ち^Fを少しでも抑えたいと思っている。
- イ 自分でも内心は滑稽な解釈だと思っているが、話す前に一拍置くことで聴衆の耳目を集めたいと思っている。
- ウ 通説から離れた解釈かもしれないが、促されたからには覚悟を決めて言わなければならないと思っている。
- エ 自分の解釈を辻には酷評されるのは分かっているので、その解釈を話すのに気持ちを引き締めたいと思っている。

(3) 文章中に 生徒たちからくすくすと笑いが起こる とあるが、このことを説明したものとして最も適当なものを、次のア～エのうちから一つ選び、その符号を答えなさい。

ア ノエが解釈を説明したときの口調に残る地方特有のイントネーションに、生徒たちが面白さを感じている。

イ ノエの口から「松尾芭蕉の腹時計」などという面白い言葉が出てきたので、生徒たちが笑いをこらえきれないでいる。

ウ 先生に喧嘩をふっかけるような剣幕で独自の解釈を語りだしたノエに、生徒たちはあきれて笑っている。

エ 勿体ぶって言い出した割にはノエの解釈はありふれたものだったので、拍子抜けした生徒たちが笑いだしている。

(4) 文章中の 辻ははつとなつて身じろぎした とあるが、このときの辻の心情を説明したものとして最も適当なものを、次のア～エのうちから一つ選び、その符号を答えなさい。

ア ノエの解釈から江戸の景色を想像し、懐かしい過去を思い出して感傷的な気持ちになっている。

イ ノエが発表した解釈が面白く、早くその先を聞きたくなっていた教師としての自分の未熟さを恥じている。

ウ ノエの解釈に常識にとらわれない発想の豊かさを感じて、ノエの感受性の豊かさに感極まっている。

エ 一人の生徒の独自の解釈に対して、教師である自分が期待を寄せていたことを自覚して動揺している。

(5) 文章中に ばらばらと拍手が起こり、たちまち広がった とあるが、このことを説明したものとして最も適当なものを、次のア～エのうちから一つ選び、その符号を答えなさい。

ア ノエの堂々とした弁舌から、ノエが自由な俳句の味わい方をしていることを感じ取り、普段のノエから想像できない姿に生徒たちはあっけにとられている。

イ ノエが語った解釈を聞いて、生徒たちは江戸の町並みを想像上で再現し、最も平和だった時代へのあこがれを抱いたため、惜しみない拍手を送っている。

ウ ノエの言った解釈が、江戸のかつての景色を想像させ、あたかも目の前にその景色が広がるようであり説得力があったため、生徒たちがみな感動している。

エ ノエがはつきり語った解釈には、最も平和であった時代に芭蕉の生きていた様子が感じられ、先生も解釈の素晴らしさを認めたため、生徒たちも安心してている。

- (6) 次は、この文章を読んだあとに、関根さんと杉本さんがノエの人物像について話し合っている場面の一部です。これを読み、あとの(a)、(b)の問いに答えなさい。

関根さん ノエはまず、二つの寺の I の違いに着目したんだね。

杉本さん そうだね。江戸時代からこの場面の時代にかけても変わっていないし、芭蕉が毎日聞いていたものだから、區別ができなかったはずがないと言っているね。そう言われると、解釈全体に筋が通っている気がするね。

関根さん そうだね。ノエの解釈をすべて採用すると、正統の解釈とどのように違うのかな。

杉本さん 根本の部分から違いそうだね。

関根さん また、ノエが語ったことには、先生も「内心、舌を巻く思いだった」と評しているところがあるね。

杉本さん 先生はそれ以前に校内新聞の文章を見たときにも II に「驚いた」と感じているようだし、ノエは言葉を使うのが上手だったことがわかるね。

- (a) I、II に入る言葉を、I は五字以上、十字以内で書き、II は8ページ、9ページの文章中から十七字で抜き出して、はじめの五字を書きなさい。

- (b) 杉本さんの言葉に 根本の部分から違いそうだね とあるが、このことについて説明した、次の文の に入る言葉を、「鐘」「糸」という言葉を使って、二十五字以上、三十五字以内で書きなさい。

正統な解釈では、芭蕉が芭蕉庵で鐘の音の響きに耳を傾けているという、のんびりとしたものだが、ノエの解釈では、芭蕉がこの俳句を詠んだときに必ずしも鐘は鳴っていたわけではなく、桜を目の前にしながら、 が生まれたものになっている。

六 次の文章を読み、あとの(1)～(5)の問いに答えなさい。

昔、となりの国より、山鳥をたてまつりて、鳴く声たへにして、聞

(言いやうもないほどすぐれていて)

くものうれへを忘るといへり。みかど、これを得て、よろこび給ふに、

(悲しみ)

またく鳴く事なし。女御(注1)の、あまたおはしけるに、この鳥鳴かせたら

(全く)

む女御を、后(注2)には立てむと、宣旨(注2)をくだされたりければ、思ひはかり

(思慮深くていらつ)

おはしける女御の、友をはなれて、ひとりあれば鳴かぬなめりとて、

しやった

あきらかなる鏡を、このつらにたてたりければ、鏡を見て、よろこべ

(よ、磨かれてくもりのない)

(鳥かごに並べて立てたところ)

る気色にて、鳴くことを得たり。尾をひろげて、鏡の面にあてて、よ

ろこび鳴く声、まことにしげし。これを鳴かせ給へる女御、后に立ちて、

(頻繁なものであった)

かたはらの女御、ねたみそねみ給ふ事限りなしといへり。

(みなものとしより、としよりすい、のう)
源 俊頼『俊頼髓脳』による。

(注1) 女御||みかどに仕えた高い位の女官。

(注2) 宣旨||みかどのお言葉を述べ伝えること。

(1) 文章中の おはしけるに、を現代仮名づかいに改め、ひらがなで書きなさい。

(2) 文章中の ひとりあれば鳴かぬなめりとて の意味として最も適当なもの

を、次のア～エのうちから一つ選び、その符号を答えなさい。

ア 一羽になったら鳴こうとするだろうと思って

イ 一羽にいるから鳴かないのであろうと思って

ウ もう一羽いるため鳴きたいのであろうと言って

エ もう一羽いるので鳴かないのであろうと言って

(3) 文章中の よろこべる の主語にあたるものとして最も適当なものを次のア～エのうちから一つ選び、その符号を答えなさい。

ア みかど

イ 女御

ウ 友

エ 山鳥

(4) 文章中に 尾をひろげて、鏡の面にあてて とあるが、山鳥がこのような行動をとった理由として最も適当なものを、次のア～エのうちから一つ選び、その符号を答えなさい。

ア 鏡の中に仲間がいると思ったから。

イ 鏡の中の仲間を自分だと思ったから。

ウ 鏡に映る自分の姿が気に入ったから。

エ 鏡が何を映し出すか楽しみだったから。

(5) 次の文章は、林さんと柳さんがこの作品について話し合っている場面の一部です。これを読み、あとの(a)、(b)の問いに答えなさい。

林さん この作品は、みかどと女御と鳴かない山鳥というものが出てくるね。

柳さん 豊臣秀吉の特徴を表したものである「鳴かぬなら鳴かせてみせようほととぎす」という俳句があると聞いたことがあるけれど、努力や工夫をして、鳴かない鳥を鳴かせようというテーマは古くから描かれてきたものなんだね。

林さん そうだね。私は『十訓抄』に「思慮を専らにすべき事」という訓話があることを思い出したよ。「専ら」というのはここでは「十分に」という意味を表す言葉だけど、この訓話は思慮深いことが大切であることを説いた話なんだ。

柳さん なるほど。確かに、みかどの約束通り、わけだからね。そのことが悔しかったのか、周りの女御たちから激しい嫉妬を向けられたようだけれど。

(a) 思慮を専らにすべき事 について、そのように訓読する場合、返

り点の付け方として正しいものを、次のア～エのうちから一つ選び、その符号を答えなさい。

ア 可_レ専_二 思_一慮_一事

イ 可_レ専_レ 思_レ慮_レ事

ウ 可_レ専_二 思_一慮_二事

エ 可_レ専_二 思_一慮_一事

(b) に入る言葉を、十五字以上、二十字以内で書きなさい。

七 次に示すのは、「勇氣」と「勇敢」という言葉の意味です。これを読み、

あとの〈条件〉にしたがい、〈注意事項〉を守って、「勇敢」についてあなたの考えを書きなさい。

〔言葉の意味〕

「勇氣」

恐れずに向かっていく強い気力。

「勇敢」

危険や困難にひるまずに立ち向かうこと。

〈条件〉

- ① 二段落構成とし、十行以内で書くこと。
- ② 前段では、「勇氣」とはどのようなものかを、「勇敢」という言葉を使って、説明すること。
- ③ 後段では、「勇敢」に対するあなたの考えを、具体例を挙げながら、説明すること。

〈注意事項〉

- ① 氏名や題名は書かないこと。
- ② 原稿用紙の適切な使い方があって書くこと。
ただし、「 } や 〓 などの記号を用いた訂正はしないこと。